

川に関する思い出

五年 畠山 耕史

ぼくの家のお近くに流れてい川は、利根川です。その川は、日本で二番目に長いとされている川だとお父さんから学びました。また別名坂東太郎といったそうです。

ぼくのおばあちゃんからの話ですが、ぼくのおじいちゃんの仕事が千葉県だ。たため利根川をわたるにはわたしぶねに乗って向かう岸まで連れていってもらって仕事をしたそう

です。毎日のことなのでたいへんだ。た。うと思いましたが。またそのころには橋がかか。ていなか。たようです。橋がかか。たにははおばあちゃんが15才ぐらいの時にできたそうです。おばあちゃんとは友達とできたばかりの橋をみ。なで自転車に乗。て見に来たそうです。

次に、利根川の水の役割、両側は田んぼが広が。り米を作ることがか。かんにおこなわれていることもわかりました。おいしいお米を食べられるのは水がたくさんある利根川と、農

家の人たちの苦うがあることも家の人からの話でわかりました。

最後に、夏になると水の事故がニュースでなかれます。利根川はとても大きな川、深いと聞いていたので、対に友達同士でちかずかなことと家族で話をしました。

